

これまでのワーキングチーム会議での意見抜粋

【新中学校像について】

(目指す教育)

- ・人間関係を広げるために意図的なグループにしてコミュニケーション能力を育成する。
- ・とにかくコミュニケーションを育めるような学校（昼食場所と時間）
- ・地域の方が出入りして話を聞けるようなスペースがあると明るい学校になる。
- ・ポジティブ教育でコミュニケーション力を高める。
- ・「新しい時代を生きぬく力」の具体的力を中高の教員で考える。
- ・中高が全国的に知名度の高い〇〇教育に取り組む。
- ・人間関係を築く能力、少し失敗してもへこたれずに再挑戦する気持ちを持つ、自分の意見をちゃんと言えりし人の話も聞いて話し合いができる。

(特色ある教育内容)

- ・いろんな経験や体験が大事。さまざまな形態で授業ができる教室やカリキュラム。
- ・高校教員によるアシスト授業（英語、数学）
- ・外部講師を呼ぶ。（大学、恐竜博物館、ジャム、星野リゾート等）
- ・高校生の授業を中学生に見せる、高校生が中学生を指導する場面を計画的に系統的につくる。（総合でも部活でも）
- ・放課後に高校の生徒とか高校の教員が多目的ホールでの催しを中学生にPR。
- ・体育などカリキュラムを柔軟にして2時間体育や45分授業でジオの活用。
- ・45分授業で中学校の7限目に高校の先生による習熟度別の授業を組む。

(連携クラス)

- ・連携クラスが3年時に編成は難しい。（体育祭や修学旅行等クラスとして成長）
- ・連携枠の時期、人数、選抜の方法等検討が必要。
- ・6年間と考えると連携クラスがあってもいいのではないか。
- ・いろんな連携の中で6年間で勝山の子どもたちを育てていくプランがあるといい。
- ・連携クラスを作らず入試の時に推薦のイメージで連携枠を設けてはどうか。
- ・入試での連携枠の場合、探究特進科と普通科の希望順番をどうするといいか。
- ・連携クラスを作らない場合、高校の先生に授業に関わってもらえるといい。

【特別教棟について】

- ・中学生の美術室と音楽室、高校生の美術室と音楽室のように分けるとどうか。
- ・道具とか教材面等を考えると教科で固まっていた方がいいのではないか。
- ・高校の芸術の授業は1年中心で他の学年は少ない。
- ・お互いにいい影響を及ぼし合うような学校にしようというプライドも育てたい。
- ・コンピュータ室は、情報の授業・共通テスト等を考えると必要である。

【新中学校校舎について】

(メディアルーム)

- ・図書館が中高共用になるので、できるだけスペースを広げてほしい。
- ・ICT機器がどこに行ってもしっかりと使える、壁面に自由にものが書ける、どのスペースを使ってもいろんな学習や探究的な活動を推進できるような環境づくり。
- ・全部に面しているメディアセンターだとどの部屋、どの玄関からも入れる。
- ・図書室が玄関の前であって自習室のスペースがあるといい。
- ・背中合わせにするけど間に空間があって吹き抜け部分があったりする2階建ての図書館が玄関と玄関の間に入る。
- ・図書室、休憩室、パソコンでの調べ学習、資料を見るためのDVD、ネットなどマルチな装備をメディアセンターにしてほしい。
- ・多目的と図書室が合わさったマルチメディアセンターみたいにできるといい。
- ・背中合わせの間に1階からメディアセンターが入って吹き抜けのような広いスペースもありながら多目的室とも連動するような空間はどうか。
- ・外部の人との打ち合わせもできるようなカフェとかの空間もいい。
- ・角ばった部屋ではなく曲線の多いメディアセンターもいい。
- ・床の色を変えてここは飲食スペースとしてはどうか。

(多目的ホール)

- ・ワーキングスペースが何カ所か必要。
- ・高校でやっていることを共有スペースで見れるといい。
- ・メディアセンターや多目的ホールは中核になる。
- ・南部中の渡り廊下が卓球練習場でピアノがあり学年集会に利用。
- ・長方形の部屋だと前の方が見にくい。テレビやマルチスクリーンはどうか。
- ・パーティションで区切ると集会、卓球の練習とかいろいろな活用ができる。
- ・パーティションを利用してポスターを張るとポスターセッションができる。
- ・卓球台を置く倉庫、机椅子の収納場所が欲しい。

(諸室)

- ・教室がホワイトボードや可動式で大集団や個別集団にも対応できる。
- ・特色として校内適応指導教室の充実。(居場所空間)
- ・勝高の探究ルームも壁三面はホワイトでプロジェクターがついている。
- ・教科ごとの探究ルームがあるとどうか。
- ・倉庫は必要。(教材の量と広さ)

(玄関等)

- ・玄関の2つ案は靴の管理が難しい。
- ・高校の玄関も改修してほしい。1階から2階にわたるようなスペース。
- ・4階案は教員や生徒の移動に関して厳しい面がある。4階案が捨てられない。